

国士舘大学大学院入学試験問題用紙

修士課程

学内選考

研究科	専攻	試験科目	参考書等持込
人文科学研究科	人文科学専攻	小論文	不可

大学院入学試験問題 令和8年度Ⅱ期
人文科学研究科 人文科学専攻 学内専攻 小論文（地理）
参考書等持込・不可

地理学の修士論文にふさわしいテーマを一つ選び、そのテーマがなぜ学術的に重要なのか、また地理学という学問分野のなかでどのように位置づけられるのかを示せ。加えて、研究を通じて何を明らかにしようとするのかという目的を明確にしたうえで、その目的を達成するために用いる調査・分析の手法とそれらを選んだ理由を述べよ。さらに、研究によって得られると予想される成果についても、具体性を失わないよう意識しながら説明せよ。

令和 8 年度 国士舘大学大学院入学試験

出題の意図と採点のポイント

研究科名	人文科学研究科 人文科学専攻
試験期別	Ⅱ期
試験区分	学内選考
試験科目名	小論文(地理)

■ 出題の意図

■ 採点のポイント

大学院入学試験問題 令和8年度Ⅱ期

人文科学研究科 人文科学専攻 学内専攻 小論文（地理）

参考書等持込・不可

問題

地理学の修士論文にふさわしいテーマを一つ選び、そのテーマがなぜ学術的に重要なのか、また地理学という学問分野のなかでどのように位置づけられるのかを示せ。加えて、研究を通じて何を明らかにしようとするのかという目的を明確にしたうえで、その目的を達成するために用いる調査・分析の手法とそれらを選んだ理由を述べよ。さらに、研究によって得られると予想される成果についても、具体性を失わないよう意識しながら説明せよ。

採点のポイント

修士論文として取り組むテーマは受験生によって異なるため、模範解答例は示せない。以下のポイントが示されているかを基に評価する。

取り組む意義のあるテーマと学術的意義、研究の位置付け、目的：研究対象・地域・期間・問題意識・空間スケールが具体的かつ明確に示されており、このテーマを扱う必要性が論理的に説明できているか、また現代社会や地域課題との接点が具体的に提示されているか、などを総合的に評価する。学術的意義と位置付けについては、国内外の最新論文（過去5年程度）を踏まえた研究動向の整理が行われており（単なる羅列ではなく研究の系譜を示し、構造化されている）、かつ既往研究の成果および問題点が明確に示されているか、またその上で自身の研究を位置付けられているか、などを総合的に評価する。特に研究の位置付けは、自身のテーマが自然地理学・人文地理学・地理情報科学など、どの分野に属するかを的確に明示した上で、地理学的アプローチ（空間分析、地域比較、フィールド調査など）との関連付けが論理的に説明されているかが重要である。研究の目的は、曖昧ではなく明確に示されていることを前提とし、既述の内容を踏まえたうえで、先行研究のギャップに基づいて設定されているか、また新規性（既往研究にはない視点や問題提起）および独自性（新たなデータや分析手法の導入など）が認められるか、などを総合的に評価する。さらに、研究テーマや意義の記述において、社会的・応用的意義が具体的に示されている場合は、加点対象とする。

方法論、妥当性、得られるであろう結果：方法論は、研究目的と整合した調査手法・解析手法が提案されており、データの出典・解析手順・精度等について具体的に述べられているか、などを総合的に評価する。また、方法論の論理的根拠や先行研究との比較が示されているか、なども加味する。方法論の妥当性については、たとえば、使用データや手法の限界、あるいは誤差要因を自覚し、それを補う工夫があるかどうか、手法の適用範囲（空間的・時間的ス

ケール)と目的の整合性が取れているか、他の手法との比較・検証を通じて客観性を担保しているか、などを総合的に評価する。得られるであろう結果については、その結果が定性的な傾向だけでなく、定量的成果として予想されているか、その結果が学術的・社会的にも意義があり、単なる期待ではなく、分析の論理的帰結として述べられているか、などを総合的に評価する。また、どのような「新しい知見が」得られる可能性があるのか、などが書かれている場合には加点対象とする。